

C - 04

大型ブロック

I型ブロック

直壁I型ブロック

高知県コンクリート製品工業組合



特 長

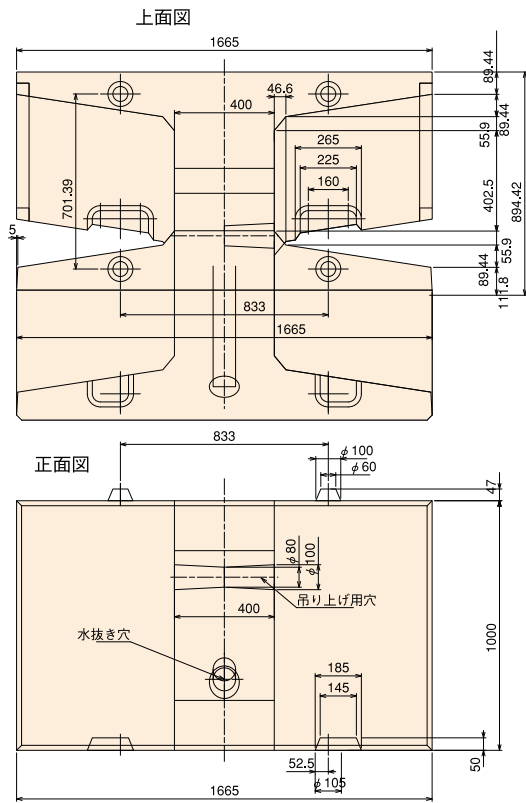
● I型ブロック

1. 機械施工により、迅速で省力化が図れ、工期が短縮できます。
2. 完全に自立し安定しており、作業が簡単で安全となり特殊技術を要しません。
3. 裏型枠が不要で、胴込めコンクリートの打設が容易かつ確実です。
4. 水平積みのため、カーブ施工が比較的容易であり、施工中ズレが生じません。
5. 自然環境に調和出来る、各種 擬石面模様の製品を揃えています。
6. 水抜き管 (VU75) を製品に配置しており、設置手間が不要です。

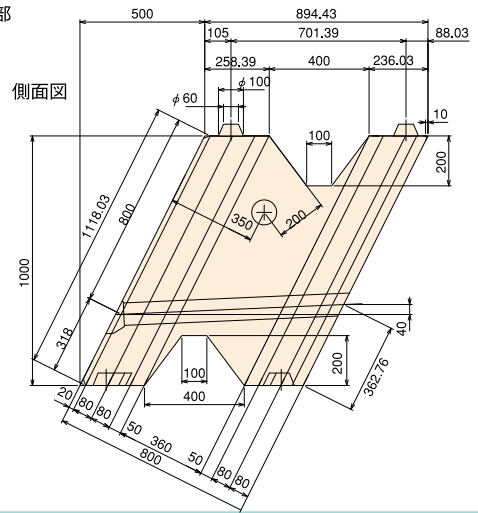
● 直壁I型ブロック (コスト縮減擁壁)

1. 直壁I型ブロックにより垂直壁構造とし、道路拡幅を有効利用する工法に用いるブロックです。
2. 利用範囲は1.5車線道路、山間部道路・待避所及び用地幅・施工幅に制限のある場合等における道路幅員の確保に有効です。
3. 山間部の急峻な地形において、擁壁全体高を減じることができ、工事全体のコスト縮減が図れます。

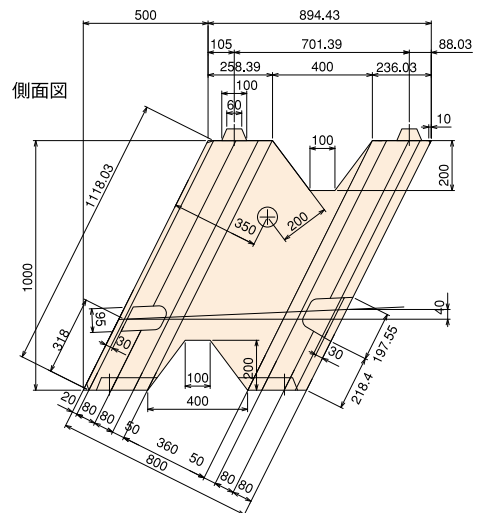
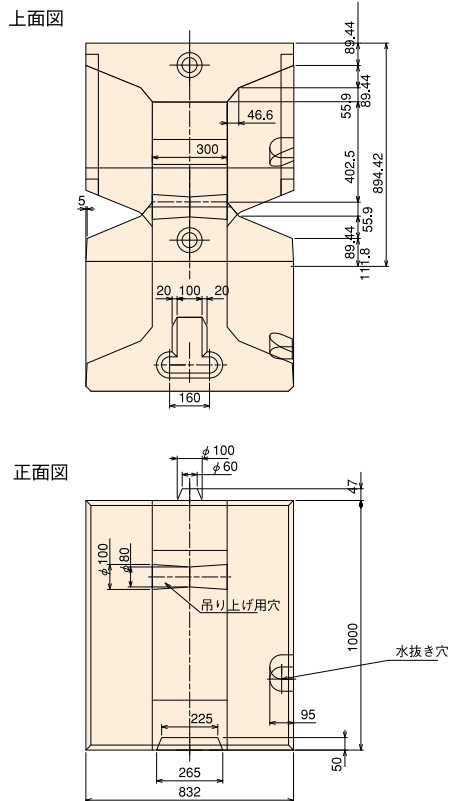
I型800-A型 基本型



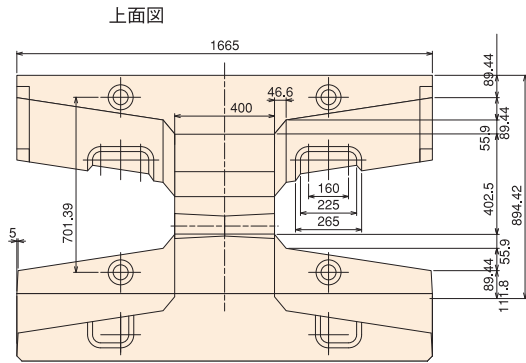
凹凸接合部



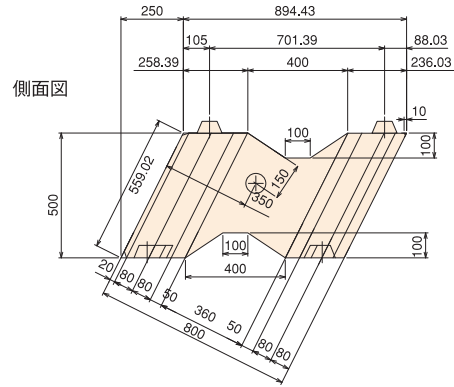
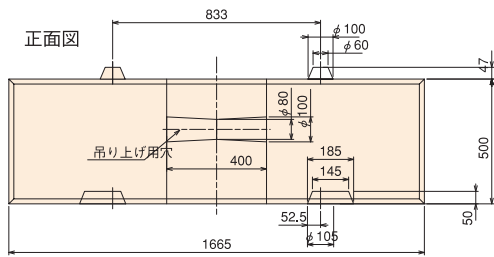
I型800-B型 縦半型



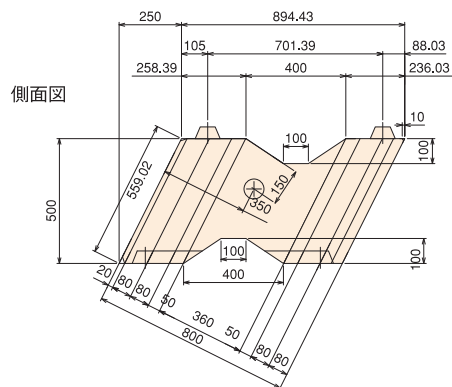
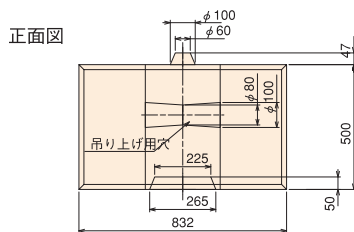
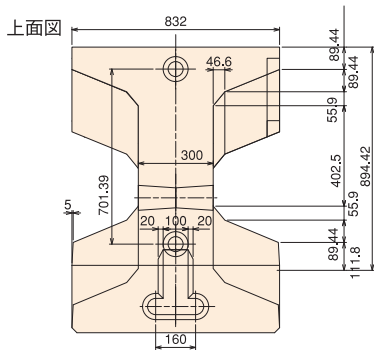
I型800-C型 横半型



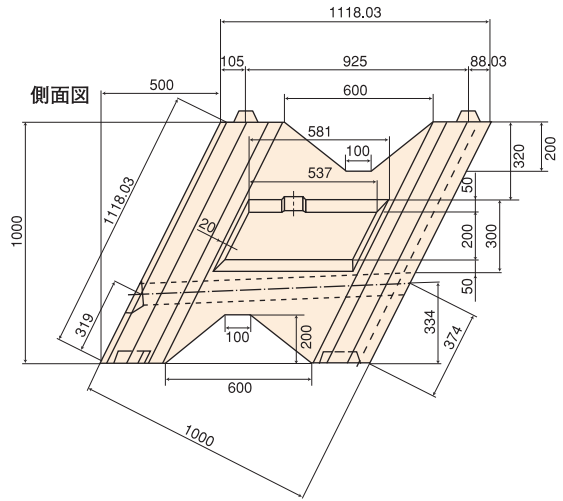
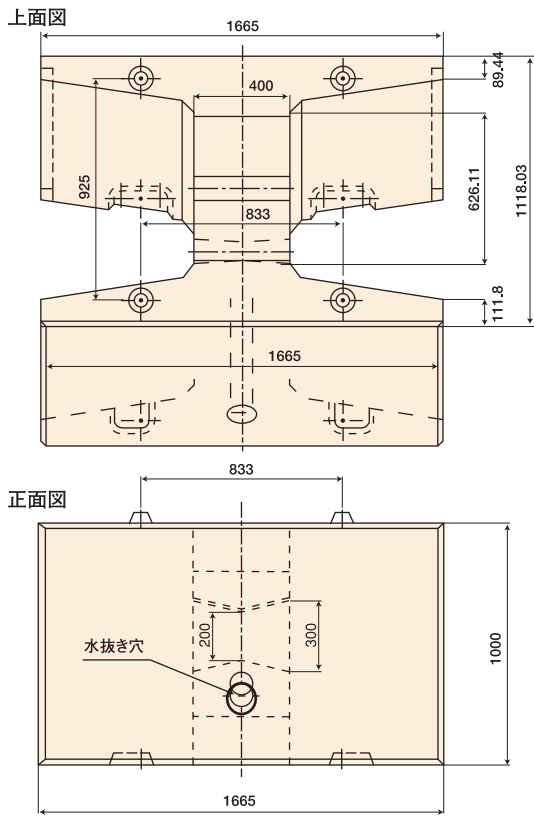
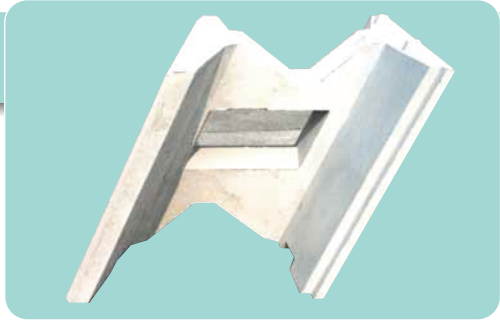
凹凸接合部



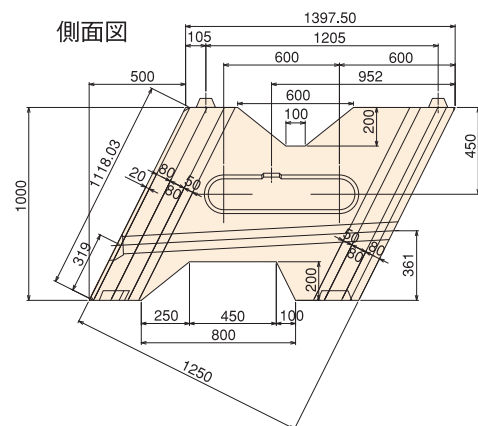
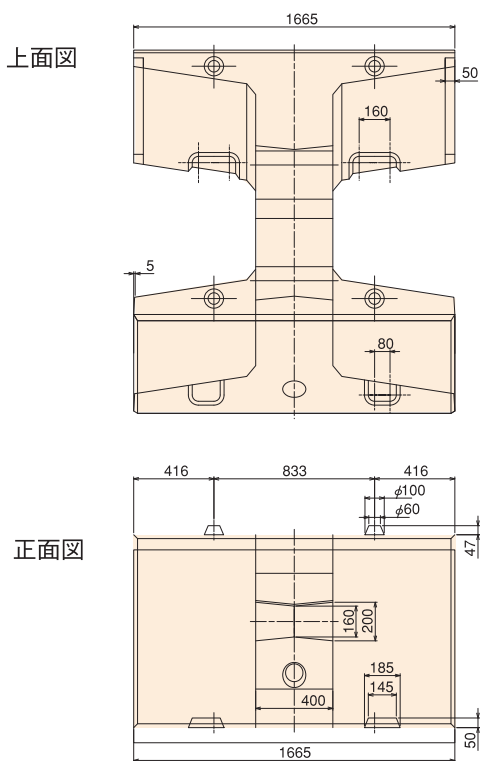
I型800-D型 1/4型



I型1000-A型 基本型



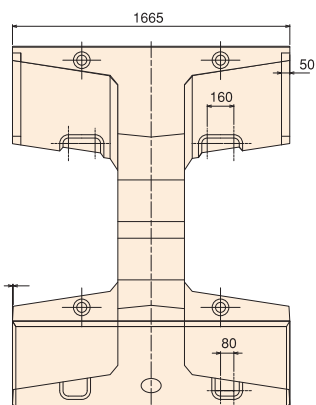
I型1250-A型 基本型



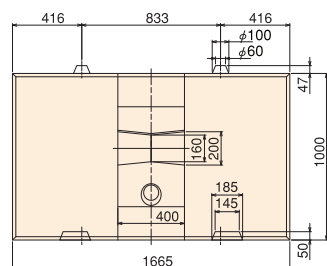
I型1500-A型 基本型



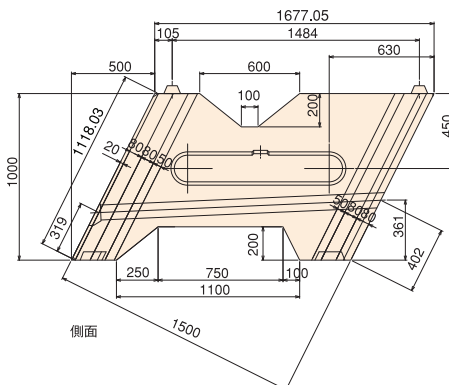
上面图



正面图

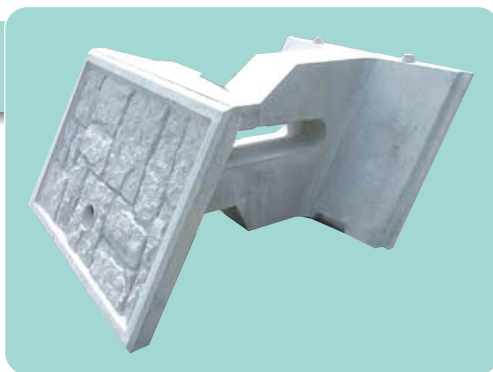


正面

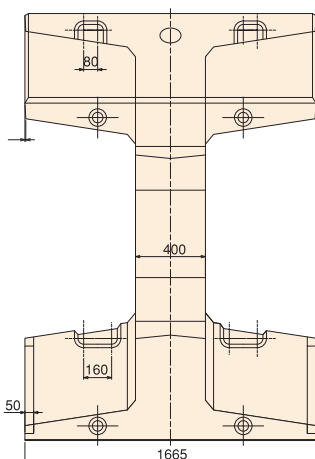


侧面

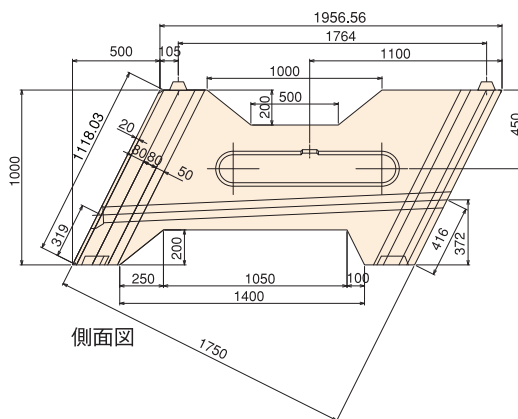
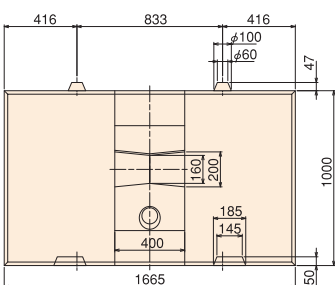
I型1750-A型 基本型



上面图



正面图

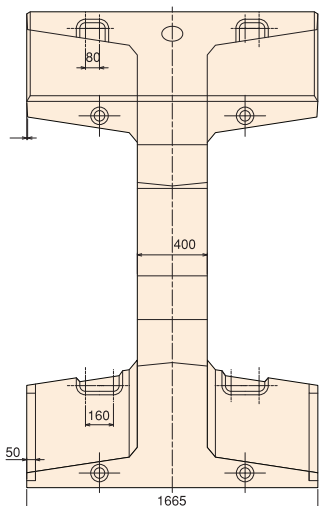


侧面图

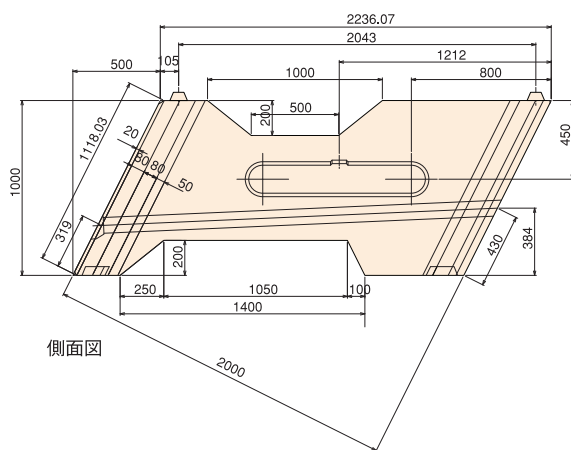
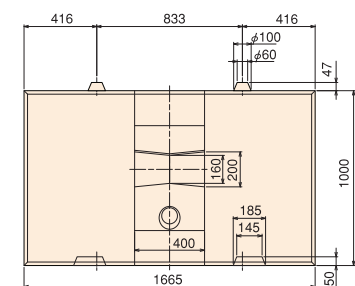
I型2000-A型 基本型



上面図



正面図



側面図

製品面模様写真

滑面



擬石(割石)



擬石(額縁)



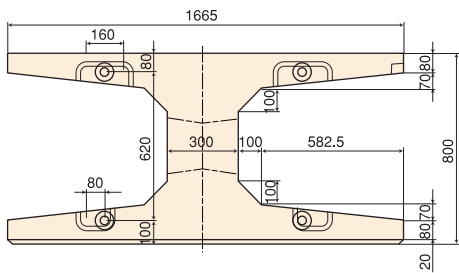
擬石(石積)



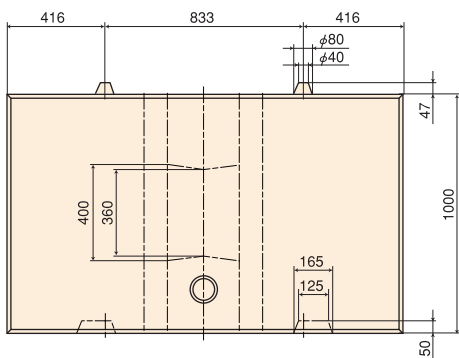
直壁 I 型 800-A 型 基本型



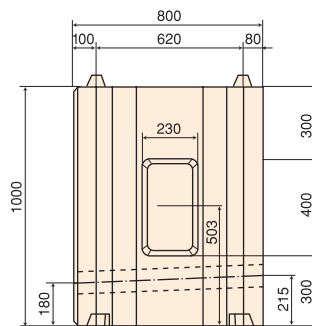
上面图



正面图



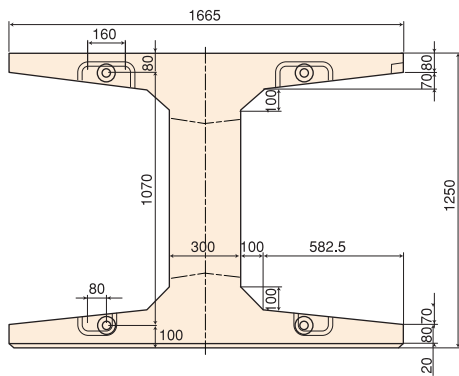
侧面图



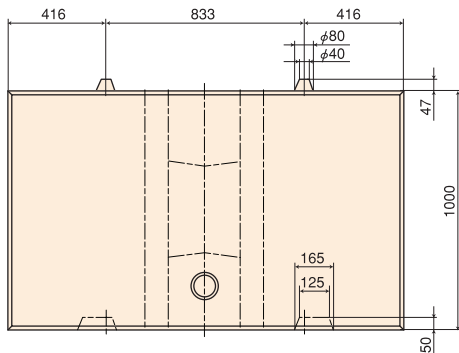
直壁 I 型 1250-A 型 基本型



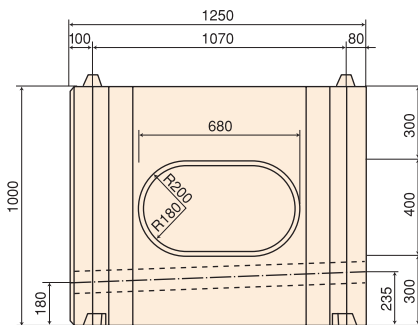
上面图



正面图



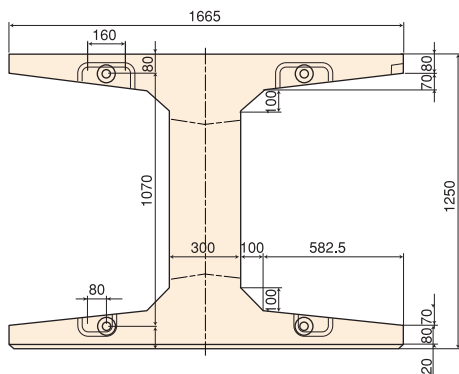
侧面图



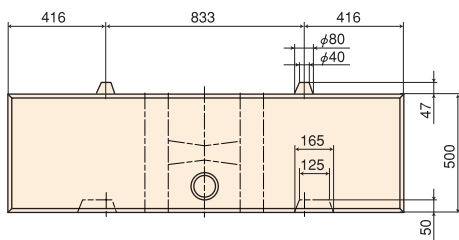
直壁 I型1250-C型 横半型



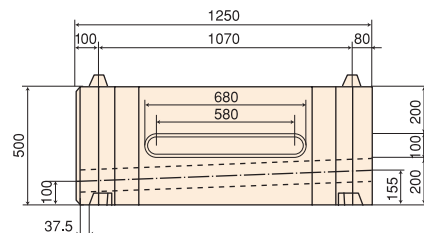
上面図



正面図



側面図

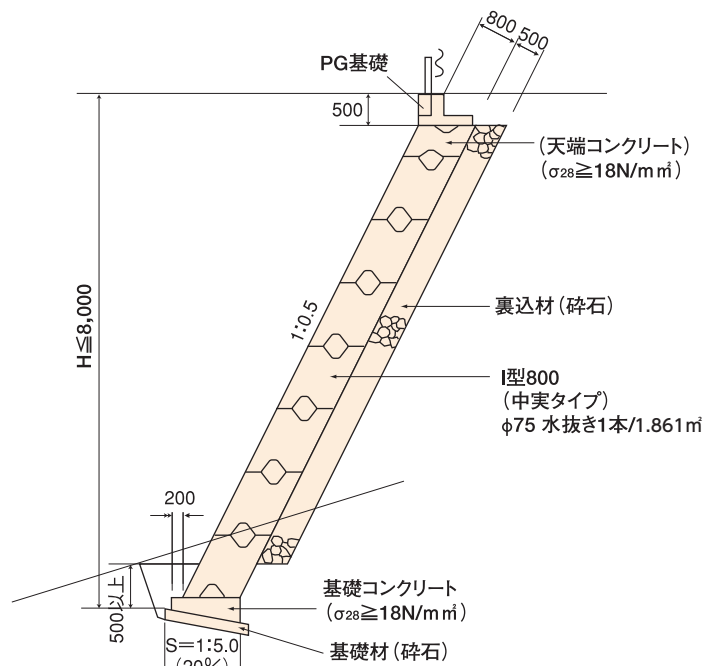


製品タイプ・諸元

呼 称	参考重量 (kg)	寸 法 (mm)			体積 (m ³)	胴込コンクリート (m ³)		
		幅	高	控 長		1個当たり	1m ² 当たり	
800型	基本A	1,585	1,665	1,000	800	0.689	0.799	0.429
	縦半B	929	832	1,000	800	0.404	0.340	0.366
	横半C	796	1,665	500	800	0.346	0.398	0.427
	半型D	462	832	500	800	0.201	0.171	0.368
1000型	基本A	1,644	1,665	1,000	1,000	0.715	1.146	0.616
	縦半B	1,056	832	1,000	1,000	0.459	0.471	0.506
	横半C	881	1,665	500	1,000	0.383	0.547	0.588
	半型D	525	832	500	1,000	0.228	0.236	0.508
1250型	基本A	1,858	1,665	1,000	1,250	0.808	1.518	0.816
	縦半B	1,123	832	1,000	1,250	0.488	0.674	0.725
	横半C	978	1,665	500	1,250	0.425	0.737	0.792
	半型D	598	832	500	1,250	0.260	0.321	0.690
1500型	基本A	2,019	1,665	1,000	1,500	0.878	1.914	1.028
	縦半B	1,383	832	1,000	1,500	0.601	0.793	0.853
	横半C	1,107	1,665	500	1,500	0.481	0.914	0.982
	半型D	695	832	500	1,500	0.302	0.395	0.849
1750型	基本A	2,147	1,665	1,000	1,750	0.934	2.323	1.248
	縦半B	1,371	832	1,000	1,750	0.596	1.031	1.109
	横半C	1,149	1,665	500	1,750	0.500	1.128	1.212
	半型D	727	832	500	1,750	0.316	0.498	1.071
2000型	基本A	2,404	1,665	1,000	2,000	1.045	2.677	1.438
	縦半B	1,533	832	1,000	2,000	0.666	1.193	1.283
	横半C	1,278	1,665	500	2,000	0.556	1.305	1.402
	半型D	823	832	500	2,000	0.358	0.572	1.230
直壁800型	基本A	1,358	1,665	1,000	800	0.591	0.740	0.444
	縦半B	705	832	1,000	800	0.307	0.358	0.430
直壁1250型	基本A	1,572	1,665	1,000	1,250	0.683	1.397	0.839
	縦半B	914	832	1,000	1,250	0.397	0.642	0.772
	横半C	822	1,665	500	1,250	0.357	0.683	0.820
	半型D	484	832	500	1,250	0.210	0.309	0.743

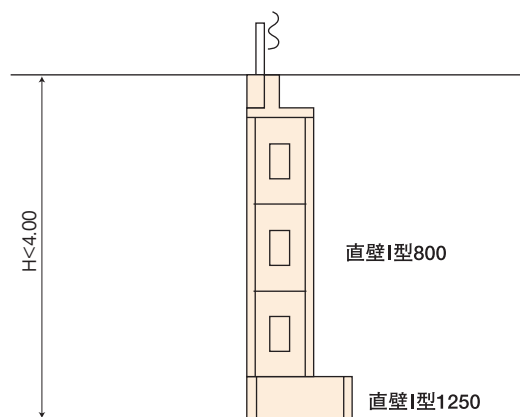
● 標準断面図

[I型ブロック]

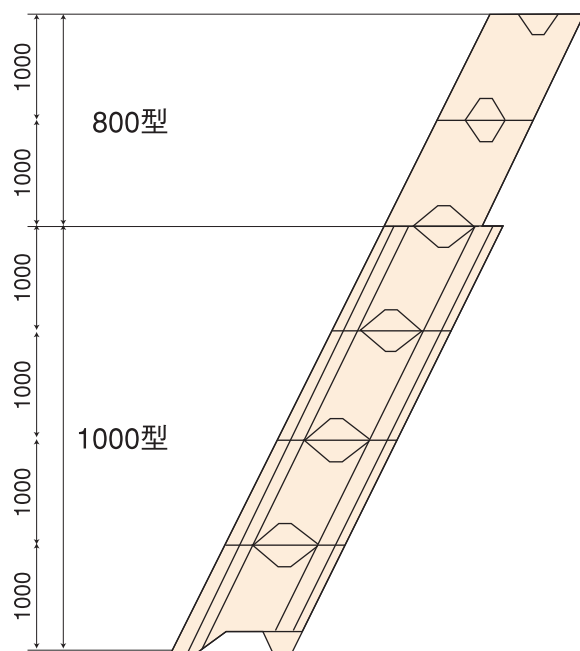


※基礎のタイプは、土質等により決定してください。
(図は高知県標準タイプを参考にしています)

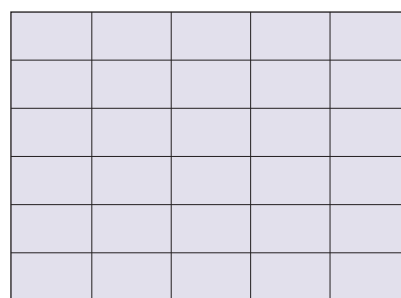
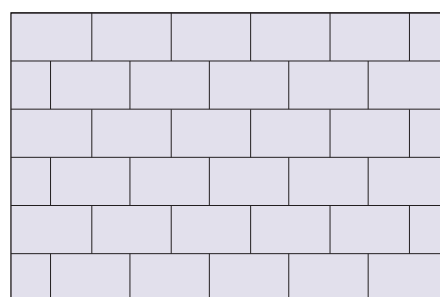
[直壁I型ブロック]



● 積上げ模式図



(展開図)



● 施工要領及び留意事項

(1) ブロック擁壁は、10.0m間隔で施工ジョイントを設置することを標準とする。

(2) 基礎コンクリート

基礎コンクリートは、支持地盤等の条件により異なります。

① コンクリート基礎の上面は通常水平であり、上乘せのブロックの滑動を防止するため、コンクリート基礎に用心差し鉄筋 (D16mm・L=50cm) を延長方向に50cm間隔で千鳥に設置する。但し、安定計算により補強鉄筋が必要な場合は、安定計算による寸法必要量の補強鉄筋を設置する。

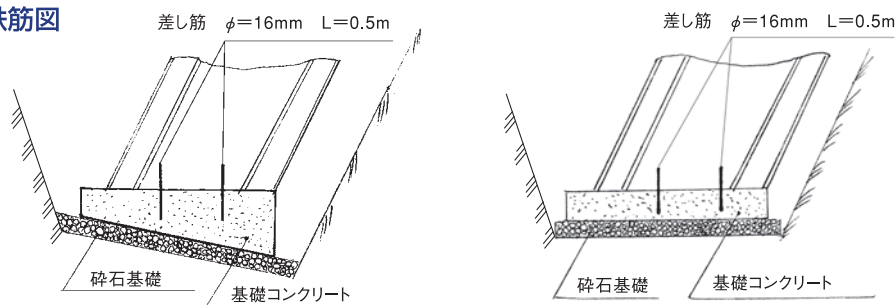
② 基礎コンクリートの上面に敷きモルタルを施し、ブロックの裾付を行う。

(3) 胴込コンクリート

① 胴込コンクリートの打設は、上下段のブロックを完全緊結するため、1段毎にブロック天端から20~30cm残し打設すること。

② ブロックの高さ一杯に胴込コンクリートを打設しバイブレーターを使用した場合、異常な浮力が発生し、ブロック位置がずれる恐れがあり、2回に分けて打設することが望ましい。

用心差し鉄筋図

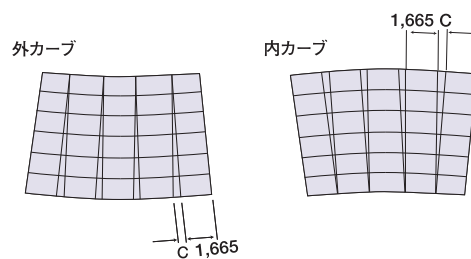


● 施工参考歩掛 (10.0㎡当たり)

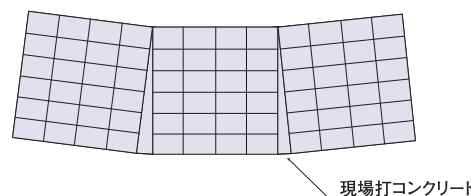
名称	規格	単位	数量		備考
			控800	控1000	
I型ブロック		㎡	10.00		
胴込コンクリート		㎡			製品諸元
世話役		人	0.2		
ブロック工		人	0.8		
特殊作業員		人	0.4		
普通作業員		人	0.4		
クレーン運転	25t吊り	日	0.4		
諸雑費		%	4.0		

● 曲線部の施工

曲率半径が大きい場合
(施工ジョイントを10m間隔とする)



曲率半径が小さい場合



曲線部施工延寸表

単位:cm

段数	曲線半径(m)			
	20	50	60	100
1	2.5	1.0	0.8	0.5
2	5.0	2.0	1.7	1.0
3	7.5	3.0	2.5	1.5
4	10.0	4.0	3.3	2.0
5	12.5	5.0	4.2	2.5
6		6.0	5.0	3.0
7		7.0	5.8	3.5
8		8.0	6.7	4.0
9		9.0	7.5	4.5
10		10.0	8.3	5.0

注i 延長10m間隔で施工ジョイント(エラストイト)を設定したとして。

注ii 段数は、外カーブ擁壁で天端から数える。
内カーブ擁壁は基礎部分から数える。